

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・IK	写真・GT
山行NO.	NO. 1888		
日時	2020年10月11日(日) 晴れ、まあまあ涼しい		
山域	富士山・宝永山 2352m峰		
コース	長泉7:00-幕岩横-キノコの森-三辻-小天狗塚-御殿庭-2352m峰 11:35-昼休憩~12:55 下山開始-駐車場 14:45-井上送り-G宅直会-長泉		
標高差	上り	約1340m~・2352m峰=約1012m	
	下り	同上	
藪漕度	上り	なし	下り なし
難易度	非常に困難	困難	やや困難 レ普通 やや易しい 易しい
今年も、やっぱり、ジゴボウ祭り			
参加者	後藤、加藤、井上弘二郎、井上初美(はっちゃん)=4名		

昨年10月5日と同じ山行。私は、ここに来るたびに宝永火口の景観に感動しており、一度嫁さん(はっちゃん)に体験してほしいかったので、たまたま休みが合った日に無理やり連れてきたのであった。

秋の宝永はオンタデの紅葉が金色に輝き、森の中にはジゴボウ(花猪口)が待っている。前日まで台風の影響が残っていたが、当日はきれいに晴れた。私は昨年の7月にこのコースに初めて来た時、どんなコースか全く知らず不安だったが、「はっちゃん」も前日は登れるか、ベテランの後藤さんと加藤さんについていけるか、すごく不安になっていた。

御殿場の米軍キャンプの近くでは、ゼッケンをつけた自転車軍団が大勢登っていった。駐車場までの道路の木々は秋の気配を帯びていた。



初クライミングの「はっちゃん」

真ん中が「はっちゃん」

8:15 駐車場スタート。昨日までの雨で沢の岩は苔もあり滑りやすくなっていた。岩が濡れてぬめぬめと全体が光っている不思議な風景だった。林に入るとキノコが現れ始めた。やがてジゴボウ



ジゴボウをガッツリ・ゲットし、ほくそ笑む「はっちゃん」でした。(´艸`)

が見つかりと隊は一斉に分かれてキノコ狩りが始まった。ジゴボウの見分け方は、K大姉さんによると、

① 傘が赤茶色でふちが白い ②傘の裏はヒダ状ではなく網状 ③軸は2段になっている。これらの3条件を満たすものは間違いなく食べられるものである。

1つでも条件が違えば怪しいので除外した。持ってきたバスケットや袋にいっぱい収穫できた。「はっちゃん」も初体験ながら、みごとなジゴボウをたくさん見つけ、はしゃいでいた。たくさん採ったので重いのと、持ち歩くといたみが早くなるので、三辻の木の陰に隠しておいた。

宝永に近づくとつれガスが立ち込めた。ガスよ、宝永火口が見えるころには晴れてくれ、と祈る。結局、目的の2352m峰頂上に行ってもガスは晴れず、あのすごい光景を「はっちゃん」に見せることができなかった。また来よう。

「はっちゃん」は日ごろマラソンを目標に1ヶ月100km走って鍛えているからか力強く登っていた。前日の心配なんてどこ吹く風。トップでグングン行ってしまい、私はビリでどんどん置いて行かれた。途中から荷物を交換した。まるで何も背負ってないような軽さで、以降はるるんで登ることができた。「はっちゃん」は荷物は重くないという(10kgくらい)。時折、ガスが薄くなりオンタデの紅葉を垣間見ることができた。巨大なフジアザミが咲いていたが、花を1つだけ残して、他の花は鹿が食べてしまったのか茎だけになっていたのが多かった。

コケモモの実がなっていた。11:35 ガスの中、登頂。樹林帯まで下りて昼食。天気予報は夏日と



2352m峰



御殿庭



御殿庭・・・若い人はイイね～！！！！

のことで、やがてガスがなくなり、直射日光が夏のように熱い。ビールを2本開けた。ガスがなくなると、富士山の頂上付近や赤岳、宝永第1火口の対岸の梵字のように見える十二薬師もはっきり見えた。下山中も、荷物を交換したままで、私は楽ちん。

下りながら、伊豆半島の海岸のギザギザや駿河湾、愛鷹山脈、沼津市や富士市など下界の景色を楽しんだ。さすがの「はっちゃん」も下りは慎重になり、後藤さんと加藤さんはグングン下るので離れて見失ってしまった。ようやく駐車場着。



帰宅後、加藤さんのご指導の通りに、ジゴボウは洗って、お湯にさっとくぐらせ消毒した。大きいものはバター醤油炒めにし、小さいものはみそ汁にして、その日の晩にいただいた。残ったものは冷凍し後日頂くことにした。

以下ははっちゃんが自身のフェイスブックに載せた感想です。

・・・昨年は、金時山新柴コースと越前岳、富士山と登り、今回はその後1年振りの登山。台風一過の日曜日は、旦那さんが所属する山の会の山行に参加してきました。

今日は、須山登山道横の沢から登り、宝永火口 2352m 峰への標高差 1,000m コース。そして秋のご褒美、じごぼう（きのこ）狩りオプション付きの山登りでした！ 見つけるって楽しい。夢中にな



バック・シャン

って探す探す（笑笑）。家に持ち帰って、バター炒めと、味噌汁にしました。お汁は美味しかった
バター炒めは苦手。

宝永火口ではガスが出て、見たかった火口の景色が見えなかったけど、樹林帯まで下ってお昼休憩の時に一瞬ガスが消え、富士山頂近く迄見えてラッキー。

今回の山登りで感じたのは、普段走ってる事が凄く良かったということ！ランニングでは、心拍数が180近く迄上がり、ヒーヒー言いながら汗だくで走るが、山登りは心拍数が上がらないから、すごく楽に登れる。コツコツ走っていることが凄いことだと実感した日でした。

でも、下りはグダグダ。おいてけぼりです。滑るのが怖くて、へっぴり腰になり歩く速さも遅くなりました（笑笑）。次への課題です。参加させて頂きありがとうございました・・・。

以上

その他の記述（後藤）

1. 実は「はっちゃん」とは、初めての登山ではなかった。まだ、子供さんが小さいころ、ハイキングに一家でよく参加した。記録を調べたら、2010年2月7日＝伊東・大平山が最後か??
<http://susono-reihou.babyblue.jp/20100207oohirayama.pdf>

この記録は、「はっちゃん」と娘さんの、真理子・智香子が書いてくれた。あれから10年経過で娘さんらは、すっかり大人になった。今度は、また、皆で上りたいですね。

2. 「はっちゃん」は、若いうえ、マラソンで鍛えられた心肺・脚力は素晴らしかった。当初、歩

行を危惧したが、全く杞憂だった。将来、大きな戦力ですね。

3. I 夫妻は用事があり早く帰宅した。G, Kは、会員のG宅で直会。ジゴボウのバター炒めが美味しかった。二番搾りのG手製の「Gビール」が、前回よりはるかに美味しかった。ごっそりまでした〜!!!



ヤマシャクヤクの実



ジゴボウ



二番搾り・Gビール



富士山・宝永山2352m峰データランド（標高差1340m～2352m=1012m） 2020.07.03

*このデータは、標高差1000m以上の特定山域登山状況を比較して、体力・技術・総合力をはかるものです。

		年齢	幕岩下沢橋発	2352m峰	上り時間	備考
2020.10.11（日・晴れ）	4名	73歳8月	8:13	11:33	3時間10分	*キノコ狩りあり
2020.07.19（日・晴れ・暑い）	3名	73歳5月	9:05	12:30	3時間25分	*新ルート、藪漕ぎあり
2020.07.02（木・快晴・爽やか）	2名	73歳5月	9:33	12:36	3時間03分	*涼しくて快適だった
2020.05.02（土・快晴・寒い）	4名	73歳3月	7:56	11:26	3時間30分	*御殿庭から水ヶ塚コース
2019.10.05（土・快晴・涼し）	5名	72歳8月	7:18	11:30	4時間12分	*上りキノコ採り時間あり
2019.07.06（土・曇り）	4名	72歳5月	7:08	10:44	3時間36分	*歩荷訓練・荷物あり
2018.10.21（日）						
2018.09.06（木）						
2017.11.26（日・快晴・強風）	1名	70歳9月	6:33	9:55	3時間23分	*単独
2017.08.26（土）	3名					
2017.08.20（日・曇り）	3名	70歳6月	7:18	10:20	3時間2分	*
2016.11.20（日・晴・高温）	1名	69歳9月	9:31	12:21	2時間50分	*単独・初見

